

一般社団法人 Lily of the valley 2021年度事業計画

目的

本法人の設立の目的は、メンタルヘルスにおけるリカバリー及びウェルビーイングに寄与することである。第一に精神疾患に罹患した人々に対するメンタルヘルスのリカバリーの促進、および一般市民のメンタルヘルスの向上に貢献するために、リカバリーカレッジを実践し、普及に努めるものである。第二にリカバリー志向の障害福祉サービス事業及び地域生活支援事を行うものである。第三に、精神保健医療福祉領域の専門職に対して、リカバリー志向の研修を開催することで、支援の質の向上を図ることを目的とする。

事業

- I リカバリーカレッジ事業
- II メンタルヘルスにおける研修
- III 障害者総合支援法に基づく障害福祉サービス事業及び地域生活支援事業
- IV その他前各号に掲げる事業に附帯又は関連する事業

本年度の方針

方針1 リカバリーカレッジふくおかの設立

イギリスで始まったリカバリーカレッジはメンタルヘルスのリカバリーについて共に学びあう場（カレッジ）である。日本でも広まってきてはいるが、福岡ではまだ実施されていない。そこで当法人ではイギリスのフィデリティを基準としたリカバリーカレッジを開設する。

方針2 リカバリーカレッジの充実

リカバリーカレッジは精神疾患を持っている方の経験知と専門職が有する専門知を融合してリカバリーを促進する独自の講座を開講するものである。そのためにはコプロダクションで、多様な声を反映させて講座を考案していく。また、講座に対する受講生や関係者へのアンケート調査等のフィードバックの機会を設けて質の向上を図る。また、質の向上のための助成金を申請し財源の確保に努める。

方針3 リカバリーカレッジの啓発

精神保健福祉医療領域では学会で取り上げられる等、専門職には認知度が高まってきている。しかし、精神疾患を罹患した人々及びその家族、あるいはメンタルヘルスの課題に関心を持つ一般市民についてはいまだ認知されていない。リカバリーカレッジの開設と同時に、受講対象となる人々への認知度を高めていく。さらにスタッフ、ボランティアを募集し活動の参加機会を設ける共に、賛同者からの寄付を募る。

方針4 リカバリー志向プログラムの普及

リカバリーのために必要なスキルのひとつとして、健康自己管理能力が挙げられる。しかしながら、我が国の精神保健福祉医療分野では、治療や支援が中心であり、こうした本人の

健康自己管理能力を高めるためのプログラムの実施がなされていないのが現状である。そこで、本法人では、専門職を対象に、リハビリ志向のプログラムの実践ができるよう研修を実施する。

本年度の事業計画内容

本法人の事業のうち、2021年度の方針に従って本年度は以下の事業を行う。

事業Ⅰ リハビリカレッジ事業

方針1 リハビリカレッジふくおかの設立

- ① 運営委員会開催 2回/月
リハビリカレッジふくおかの設立および運営管理について検討する会を開催する。
- ② リハビリカレッジ開設準備
開校にむけてHP,パンフレット、カリキュラム、書類などの作成を行う。
- ③ リハビリカレッジ開校 9月～12月 1クール/年
リハビリカレッジふくおかを開校する。本年は1期のみ実施する。

方針2 リハビリカレッジの充実

- ① カレッジラボ開催 7回/年 2021年4月～7月、2022年1月～3月
精神保健福祉関係者に対するリハビリカレッジの認知度を高め、仲間を募集することを目的に行う。また当法人関係者に対するリハビリカレッジの理解促進のためにリハビリカレッジに関する勉強会を開催する。
- ② 講座開発のためのワークショップ 2回/年
講座構成に向けた多様な人々との意見交換を行う会を開催する。
- ③ 講座開発のための調査 1回/年
リハビリカレッジで提供される講座に対する意見を集約するための調査を行う。
- ④ 講座開発にむけたスタッフミーティング 1, 2回/月
講座の内容検討、スキル向上、情報共有のために関係者でミーティングを行う。

方針3 リハビリカレッジの啓発

- ① 広報
HP、パンフレット、動画等を作成し、SNS等による広報を行う。また精神保健福祉医療領域の関係機関へ訪問し、リハビリカレッジふくおかの周知を図る。
- ② オープンカレッジ開催 1回/年
リハビリカレッジふくおかの説明会を実施し、受講生の募集を図る
- ③ スタッフ・ボランティア募集 随時
講座開講にあわせて、必要なスタッフ、ボランティアを募集する。

④ 寄付活動 随時

開校前にクラウドファンディングを行う。

事業Ⅱ メンタルヘルスにおける研修

方針4 リカバリー志向プログラムの普及

① IMR 研修 1回/年 8月

IMRの実践を目的に精神保健福祉領域の専門職向けの研修会を開催する。

② WRAP 研修 1回/年 2022年2月

WRAP ファシリテーターになりたい人を対象にファシリテーター養成研修を行う。

③ IPPO 研修 1回/年 2022年1月

IPPO プログラムの実践を目的に精神保健福祉領域の関係者を対象に行う。